

# VSATアプリケーションの 稼働率について

2008年2月26日

JSAT株式会社

## ▶ VSATアプリケーションの稼働率

前回(2/12)研究会にてご紹介させていただいたVSATアプリケーション(SAO, SPACE IP)の稼働率について補足説明します。

### 降雨に対する稼働率

- ・ SAO、SPACE IPとも99.9%以上の稼働率となるよう回線設計をし、十分なマージンを確保している。

### 降雪の影響

- ・ 降雪による電波の減衰への影響は軽微。
- ・ 降雪地帯のアンテナには鏡面性能維持のため、一般的に融雪装置が設けられている。

## ▶ 推奨アンテナ径

所定の稼働率となるように回線設計を行うため、サービスエリア内であれば地域による稼働率に差はほとんどない。衛星のコンタが落ちている地域や降雨強度の高い地域において、同程度の稼働率を得るためにアンテナ径を大きくすることが推奨される。

### 稼働率の実例

横須賀の75cmの局で約1.5時間(2007年間)降雨による影響を受けた例がある(メンテナンス等を除く)。稼働率は99.98%に相当。

## ▶ 推奨アンテナ径

各VSATサービスにおいて、主な地点で推奨されるアンテナ径は下記のとおりです。

SAO

都市名	アンテナ径
札幌	75cm
東京	75cm
福岡	75cm
那覇	75cm
父島(小笠原)	120cm

SPACE IP

都市名	アンテナ径
札幌	96cm
東京	96cm
福岡	96cm
那覇	120cm
父島(小笠原)	180cm